



戸来 伝
(株の会)

農業、商工業を支援する

五億円の基金は可能か

財政的に心配ないが

市長方針はこれから

議員 市長公約の農業所得向上についての取り組みは。

市長 農産物の販売強化や野菜のブランド力向上など、今まで弱かった部分について取り組んでいます。

議員 農家が国の補助事業を利用する際に、補助のかさ上げをし、支援する考えは。

農林部長 国のTPPに関する動向や攻めの農林水産業の具体的な施策が今後発表される予定で、それらを見きわめながら来年度に向けて、市独自の支援策を検討したいと考えています。

議員 過去に米、野菜、商工業などに一億円ずつ、合計五億円の基金を積み提案をしたことがある。現在は、それができる状況か。



市独自の農業支援策を

副市長 現在の基金の状況から見れば、五億円程度の基金であれば財政的に心配はないと思います。平成二十六年年度の、市長の方針に沿って予算に反映したいと考えています。

議員 小規模水道の状況と今後の取り組みは。

上下水道部長 小規模水道は四十四カ所あり、湧水の水源が三十五カ所、井戸の水源が九カ所です。水質検査は県条例等に基づき大腸菌など十二項目につ

いて登録水質検査機関で実施しています。また、水質管理などの指導は市と保健所が協力して実施しています。安全で安心な飲用水の確保には、水道法に準じた施設整備が望ましいですが、小規模水道の多くが山間部にあり、増大する施設整備費等の影響や、地区住民にも住宅内配管の更新など新たな設備費用が生じます。今後、地区住民の意向を含め、関係機関と協議します。

議員 下水道の計画区域外の地区に職員が出向き、浄化槽整備事業の説明をし、普及を図る考えは。

上下水道部長 公共下水道の区域から外れている地区については、PRしていきたいと考えています。

直通電話導入の効果は

約2,500万円の経費削減



堰野端 展雄
(高志会)

二十二年十月から導入しています。これに伴い平成二十二年年度から電話交換業務を民間委託しています。委託する前の平成二十一年度の経費は約三千万円でしたが、現在は約四百六十万円で、約二千五百万円の経費削減になっています。

議員 高齢者あんしん見守りネットワークの内容は。

市長 高齢化の進行に伴い、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しており、市、社会福祉協議会、民生委員等の関係者だけでは見守りが困難になっています。多くの市民や町内会、老人クラブ等の関係団体の会員、本事業の趣旨に賛同する民間事業者等に、日常生活や業務に支障がない範囲で高齢者に関心を持っていただき、何か異変を感じた場合には地域包括支援センター等へ連絡していただくことにより、早期に適切な対応ができるような仕組みづくりです。現在、宅配業者や老人クラブなど十四団体に登録していただいています。

議員 新たな企業誘致とともに、既に誘致した企業を大事にすることが必要では。

観光商工部長 これまで誘致した企業は十四社あります。その際、道路舗装の要望や雇用した際の補助制度の要望がありました。今後も継続的に企業訪問を実施し、企業からの要望、意見を真摯に受けとめ、可能な限り対応します。



みんなで高齢者の見守りを